



森のはこ舟アートプロジェクト2016 西会津エリアプログラム
「森をえがく -植物を介したアート・コミュニケーションの実践-」成果展

美術家
村山修二郎



西会津こども草木塔コミュニケーションプロジェクト
—草木塔、草木輪、草木子などから森をえがく—



2015年11月20日—2016年2月14日
会場：西会津国際芸術村

休館日 毎週月曜・火曜（祝祭日を除く）
開館時間 10:00—17:00



西会津こども草木塔コミュニケーションプロジェクト

—草木塔、草木輪、草木子などから森をえがく—

美術家

村山修二郎

草木塔(そうもくとう)。草木を敬い尊い、自然への感謝の証しとして先の日本人がつくった素晴らしいものである。江戸時代の中期、山形県田沢地区が発祥の地と知られて、置賜地方には現在も多く現存している。福島県では、一つだけ喜多方市熱塩地域の熱塩小学校の脇に在る。この精神は、自然から遠い場所で生活をする現代社会の我々に多くの気づきを与えてくれる、とても重要で可能性を含んだものである。

草木塔の精神は、草木を弔うと言うことだけではなく、小さな芽、ささやかなものことの有り難さを皆で思うことの大切さを静かに問うているのだと思う。ゆえに、草木の表面的な着飾った美しさでない、影に隠れ置かれている草木塔の精神の根源を受け継ぎ、微細で可能性の塊である子ども達が、オリジナルな木の草木塔をつくることにより、自然と人との本質を浮き彫りに出来ると思う。良き未来環境の創造は、みんなで身近な小さい草木の有り難さを共有することからはじめたいと思う。

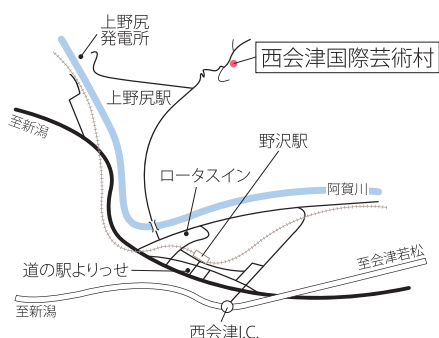
西会津国際芸術村の展示では、西会津中学校で開催した草木塔ワークショップの成果を展示する他、緑画や草木輪、草木子などによって西会津の森を「えがく」ことで、植物を介したアート・コミュニケーションを試みている。



緑画で描かれた飯豊山



西会津中学校での草木塔ワークショップの様子



2015年11月20日—2016年2月14日

会場：西会津国際芸術村

休館日 毎週月曜・火曜（祝祭日を除く）

開館時間 10:00—17:00

入場無料



村山 修二郎

東京都生まれ。美術家。

東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻壁画修了・博士(美術)。京都造形芸術大学こども芸術学科教員。植物研究、地域植生リサーチに基づいた植物に内在する初源的な力を抽出した作品を制作。2008年から「緑画(りよくが・村山が考えた造語)」と呼ぶ、草葉・花・実を画材に直接手で紙や布また壁に絵を描くスタイルによる作品制作を行っている。その他、植物に関わる社会地域活動とワークショップを様々な地域で展開中。